

会場への交通アクセス



ホール最寄駅からのご案内

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分
- 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口 徒歩3分
- JR「新橋」駅 日比谷口 徒歩10分

参加申込

オンライン参加は、事前申込制とさせていただきます。

参加をご希望される方は、総務省ウェブサイトより参加申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※地方議会議員、地方議会事務局向けの会場参加の募集はすでに締め切っています。

(総務省HP) https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/bunken/chihogikai__2024.html



ご視聴にあたって

- ・参加申込後、ご入力いただいたメールアドレス宛に、本シンポジウムの運営業務受託事業者（株式会社Olive）よりライブ配信URLを送付いたしますので、当日は当該URLをクリックし、ご視聴ください。
- ・ご視聴環境は、視聴者の皆様においてご準備いただくようお願いいたします。

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 TEL : 03-5253-5510

地方議会活性化 シンポジウム 2024

多様な人材が参画する地方議会の実現へのアプローチ
～課題への取組事例から考える～



静岡県議会

開催日

令和6年11月29日(金)
14:00 ~ 17:00

会場

日比谷コンベンションホール
(大ホール)
(東京都千代田区日比谷公園1-4)
+ オンライン配信

主催：総務省 共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

地方議会活性化シンポジウム

2024 のご案内

開催趣旨

全国的に人口減少と高齢化が進行し、地方公共団体の経営資源がますます制約される中で、地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包摂する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要となります。議会が役割を果たしていくためにも、多様な人材が参画し、住民に開かれた議会を実現していくことが必要です。

このような中で、総務省は、国民の議会や議員活動への関心を高め、多様な人材の参画を促進するための各議会における先進的な取組の紹介等を通じ、今後の議会づくりを考える「地方議会活性化シンポジウム」を平成25年度から毎年開催しています。

今年度の本シンポジウムは、地方議会の位置付けの明確化等を実現した令和5年地方自治法改正を契機に各議会において主権者教育の取組みが進められていること、また、子育て・介護等と議員活動との両立支援や障害当事者議員への合理的配慮の観点から議会の一層の取組を求める声が寄せられていること等を踏まえ、これらをテーマとしたパネルディスカッションを開催します。

プログラム

14:00 ～ 14:05 開会・総務省挨拶

14:05 ～ 15:25 パネルディスカッション 1

テーマ 地方議会に対する関心を高め、理解を深めるための取組事例

コーディネーター	金崎 健太郎 氏	武庫川女子大学経営学部教授
パネリスト	石田 宗久 氏	京都府議会議長
	木村 諭史 氏	東京都新島村議会議長
	丸山 国一 氏	山梨県甲州市議会議員

15:25 ～ 15:40 休憩

15:40 ～ 17:00 パネルディスカッション 2

テーマ 多様な人材の参画に係る課題に対する取組事例

コーディネーター	辻 陽 氏	近畿大学法学部教授
パネリスト	赤嶺 奈津江 氏	沖縄県南風原町議会議長
	澤部 慶 氏	茨城県取手市議会事務局次長
	中村 清香 氏	熊本県熊本市議会 議会局次長

17:00 閉会

パネルディスカッション1

テーマ 地方議会に対する関心を高め、理解を深めるための取組事例



コーディネーター

かなさき けんたろう

金崎 健太郎 氏

武庫川女子大学経営学部教授

京都大学法学部卒業、筑波大学大学院修了。博士（社会学）。自治省（現総務省）入省後、佐賀県総括政策監、和歌山市副市長、総務省選挙部企画官、札幌市財政局長、内閣官房内閣参事官、関西学院大学法学部教授等を経て現職。全国市町村国際文化研修所客員教授、西宮市監査委員等も務める。



パネリスト

いしだ むねひさ

石田 宗久 氏

京都府議会議長

2003年から京都府議会議員を務め、現在6期目。総務・環境常任委員長、関西広域連合に関する特別委員長、予算特別委員長、議会運営委員長等を歴任。2023年から第83代京都府議会議長に就任。家族や地域社会のつながりを大切に、府民に信頼される身近な議会の取組に日々尽力している。



パネリスト

きむら さとし

木村 諭史 氏

東京都新島村議会議長 工学博士

1978年生まれ。元 千葉大学客員准教授。平成27年より新島村議会議員に当選。副議長を経て、今期（3期目）に議長就任。総務常任委員長（2期目）の頃より、議員定数議論⇒過程の見える化⇒『議員と一緒に考える会』の開催と共有⇒高校生の総合授業への題材提供を行う。小中学生の議会体験など、地域活動・教育・議会活動の領域横断を心がけている。



パネリスト

まるやま くにかず

丸山 国一 氏

山梨県甲州市議会議員

2005年から甲州市議会議員を務め、現在5期目。その間2度の議長を務め、議会運営委員会委員長、各常任委員長等を歴任し、現在子ども議会研究会会長として、全小中学校での出前授業と子ども議会の開催により、地方自治、議会、主権者教育等を身近でわかりやすく、関心を持てる事業として推進に尽力している。

パネルディスカッション2

テーマ 多様な人材の参画に係る課題に対する取組事例



コーディネーター

つじ あきら

辻 陽 氏

近畿大学法学部教授

1977年生まれ。1999年京都大学法学部卒業、2003年同大学法学研究科博士後期課程中退。博士（法学）。近畿大学法学部講師、同准教授を経て2016年より現職。著書に『日本の地方議会―都市のジレンマ、消滅危機の町村』（中公新書、2019年）、『戦後日本地方政治史論―二元代表制の立体的分析』（木鐸社、2015年）。



パネリスト

あかみね なつえ

赤嶺 奈津江 氏

沖縄県南風原町議会議長

2010年に南風原町議会議員に初当選し、現在4期目。1期目に議会活性化特別委員会副委員長を務め、議会基本条例制定に携わる。経済教育常任委員会委員長、那覇市・南風原町環境施設組合議会監査員、同組合議会副議長（2期）等を歴任。2022年9月から議長を務める。13年ぶりに議会活性化特別委員会を設置し、日々移り変わる社会情勢の変化に対応する議会運営を目指し、議会改革・議会活性化に取り組んでいる。



パネリスト

さわべ けい

澤部 慶 氏

茨城県取手市議会事務局次長

1976年茨城県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、1999年取手市役所入庁。これまで総務部門で主に法務・訟務・行政不服審査事務を担当し、2023年4月から現職。取手市議会でのICTやオンラインの活用をはじめとした各種の事業に、24人の市議会議員と議会事務局職員とが一体（ワンチーム）となって取り組んでいる。



パネリスト

なかむら きよか

中村 清香 氏

熊本県熊本市議会 議会局次長

1986年熊本市役所入庁。1992年から9年間、議会事務局総務課勤務（2度の育休取得）。監査事務局主査、観光文化交流局国際室長、環境局環境政策課副課長を経て2020年、20年ぶりに議会に管理職として戻る。議会局総務課長を経て現職2年目。2016年熊本地震時は南区災害対策部に従事。